

※受理年月日	
※処理年月日	

中 長 期 計 画 書

九州経済産業局長 殿

平成 29年 7月 24日

住 所 宮崎県宮崎市大字小松1119番地
 法人名 一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団
 法人番号 4350005000106
 代表者の役職名 代表理事
 代表者の氏名 大野 和男 印

エネルギーの使用の合理化等に関する法律第14条第1項（法第19条の2第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 特定事業者（特定連鎖化事業者）の名称等

特定事業者番号 (特定連鎖化事業者番号)	0040281				
事業者の名称	一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団				
主たる事務所の所在地	〒880-2112 宮崎県宮崎市大字小松1119番地				
主たる事業	一般病院				
細分類番号	8	3	1	1	
エネルギー管理統括者の 職名・氏名	職名 業務執行理事 氏名 東 明				
エネルギー管理企画推進者の 職名・氏名・勤務地・連絡先	職名 本部事務局総務人事部長 氏名 古沢 賢二郎 エネルギー管理士免状番号又は講習修了番号 01-2010-3-08323 勤務地 〒880-2112 宮崎県宮崎市大字小松1119番地 電話 (0985 - 47 - 3744) FAX (0985 - 47 - 5202) メールアドレス d.kurogi@junwakai.com				

II 計画内容及びエネルギー使用合理化期待効果

内容	該当する工場等	実施時期	エネルギー使用 合理化期待効果 (原油換算 kL/年)
潤和会記念病院の救急外来内の蛍光灯照明をLED照明に変更。	潤和会記念病院	平成29年度	0.5kL/年

III その他エネルギーの使用の合理化に関する事項

<p>1、夏季及び冬季の節電取り組み（平成28年対比夏季マイナス1%、冬季マイナス1%） 対象施設：全施設（潤和会記念病院、ひむか苑、宮崎リハビリテーション学院、延岡リハビリテーション病院、小規模多機能ホームマルシェ、本部事務局棟） エネルギー使用合理化期待効果（原油換算kL/年）：13kL/年</p>
<p>2、空調温度の一括管理（事務室での温度設定） 対象施設：宮崎リハビリテーション学院 エネルギー使用合理化期待効果（原油換算kL/年）：2kL/年</p>
<p>3、訪問車輛のエコカー変更。低燃費車輛（電気自動車・ハイブリッド自動車等）への順次買換え（平成17年購入車輛より順次開始） 対象施設：潤和地域包括ケアセンター</p>
<p>4、新規施設のセントラルキッチンひまわりでは、原油換算で約84kLの発生が見込まれているが、他施設同様に節電を徹底し、原油換算で約1kLの発生抑制を目標とする</p>

IV 前年度計画書との比較

削除した計画	該当する工場等	理由
潤和会記念病院の集中治療室内の蛍光灯照明をLED照明に変更。	潤和会記念病院	平成28年度に実施完了したため。
追加した計画	該当する工場等	理由
潤和会記念病院の救急外来内の蛍光灯照明をLED照明に変更。	潤和会記念病院	点灯時間が長く、LEDに変更することで、エネルギー使用合理化の寄与度が高いと考えるため

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 文字は、かい書でインキ、タイプによる印字等により明確に記入すること。
 - 計画書冒頭の※印を付した「受理年月日」欄及び「処理年月日」欄には記入しないこと。
 - Iの「主たる事業」及び「細分類番号」の欄には、行っている事業について、日本標準産業分類の細分類に従い、分類の名称及び番号を記入すること。
 - IIの「該当する工場等」の欄には、複数工場等が該当する場合はそれぞれの工場等の名称を記載し、全工場等が該当する場合は全工場等と記入すること。
 - IIの「エネルギー使用合理化期待効果」の欄には、基準年度を報告年度とし、計画完了年度における年間エネルギー消費量の削減効果を記入すること。
 - IIIには、IIで定量的に記載できないエネルギーの使用の合理化に向けた計画等について記入すること。また、この欄のみでは記入が困難な場合は、CSR報告書等の関係資料を添付すること。
 - IVには、II・IIIについて前年度と比較して記入すること。